

## 平成28年度 教育委員会 第7回定例会 議案

1 日 時 平成28年7月6日(水) 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

第12号議案 平成29年度静岡県立高等学校学科改善 …… 1

<非>第13号議案 教職員の懲戒処分 …… 非

<非>第14号議案 教職員の懲戒処分 …… 非

<非>第15号議案 「指導力不足教員審査委員会」委員の委嘱 …… 非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第12号議案

平成29年度静岡県立高等学校学科改善

平成29年度静岡県立高等学校学科改善について、別紙のとおり決定する。

平成28年7月6日提出

静岡県教育委員会教育長

(別紙)

## 平成 29 年度静岡県立高等学校学科改善

### 1 学科改善のねらい

- (1) 生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等に対応し、学習内容の改善を図る。
- (2) 技術革新や情報化、国際化、少子・高齢化等の社会変化に対応し、学習内容の改善を図る。
- (3) 魅力ある学校づくりを推進する。

### 2 学科改善の概要

学校名	改善前	改善後
伊豆総合 (全日制)	機 械 工 学 科	工 業 科
	電 気 電 子 工 学 科	
	建 築 工 学 科	
	総 合 学 科	( 変 更 な し )
土肥 (全日制)	普 通 科	平成 29 年度から 伊豆総合高等学校の分校
	商 業 科	
伊豆総合 土肥分校 (全日制)		普 通 科

## 伊豆総合高校（工業科）の学科改善

### 1 経緯等

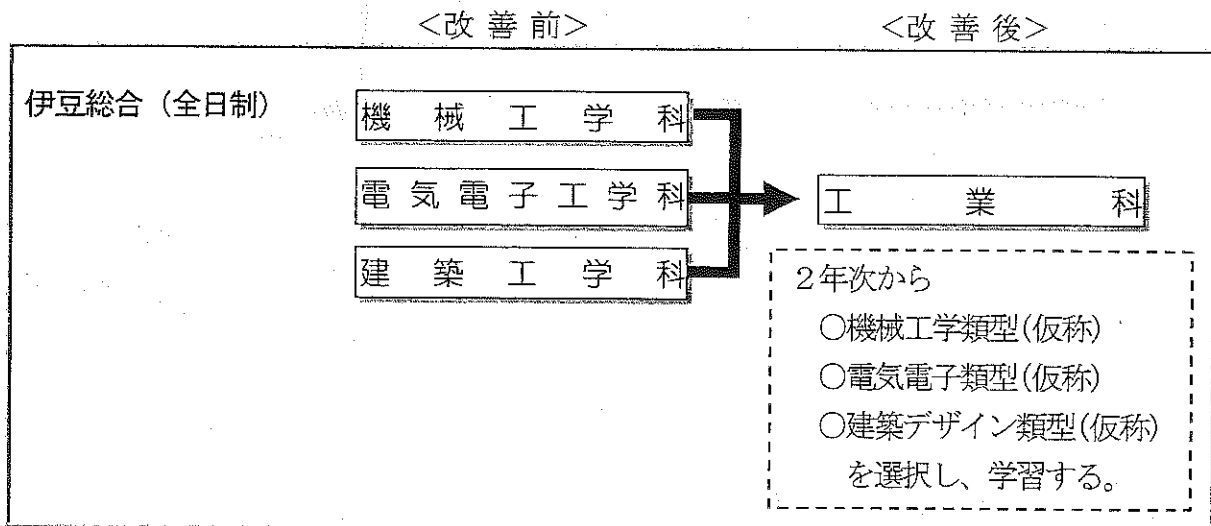
- 平成25年度に、学校側より工業科の抱える課題を解決し、より地域及び生徒の実態に応じた教育活動を実現するための学科改善を検討したい意向を受け、校内に検討委員会を設置した。
- 平成27年度末、3年間の検討結果をまとめた「学科改善要望書」が提出された。

### 2 改善の理由(必要性)

- 伊豆総合高校は伊豆半島唯一の工業科を有する高校として、主に伊豆半島から函南、三島地区の中学生を受け入れ、地域の要請に応じて、幅広く「ものづくり産業」を支える人材育成を行ってきた。
- その一方で、近年、工業科では小学科ごとの志願に偏りが見られたり、当該地域の中学生が各学科の特徴を十分に理解しないまま入学する傾向が強まり、その結果、入学者選抜にて第2志望で入学した生徒などが、入学後に学習意欲等が低下し、学校生活に不適應を起こすなどの課題が生じている。

### 3 改善の方向性

- (1) 工業科が抱える課題を解決しつつ、引き続き、地域の中学生及び企業の幅広いニーズに応えるため、小学科を統合した工業に関する包括的な学科に改善する。
- (2) その上で、企業等が求める各分野における一定の専門性を確保する観点から、入学後、生徒が工業に関する理解を深めた後に、「機械」、「電気・電子」、「建築」の類型を選択し、学習する。



### 4 その他

- 平成29年度の工業科の募集定員(学級数)は、全県の募集計画を策定する段階で判断する。  
(11月の教育委員会定例会に議案提出)

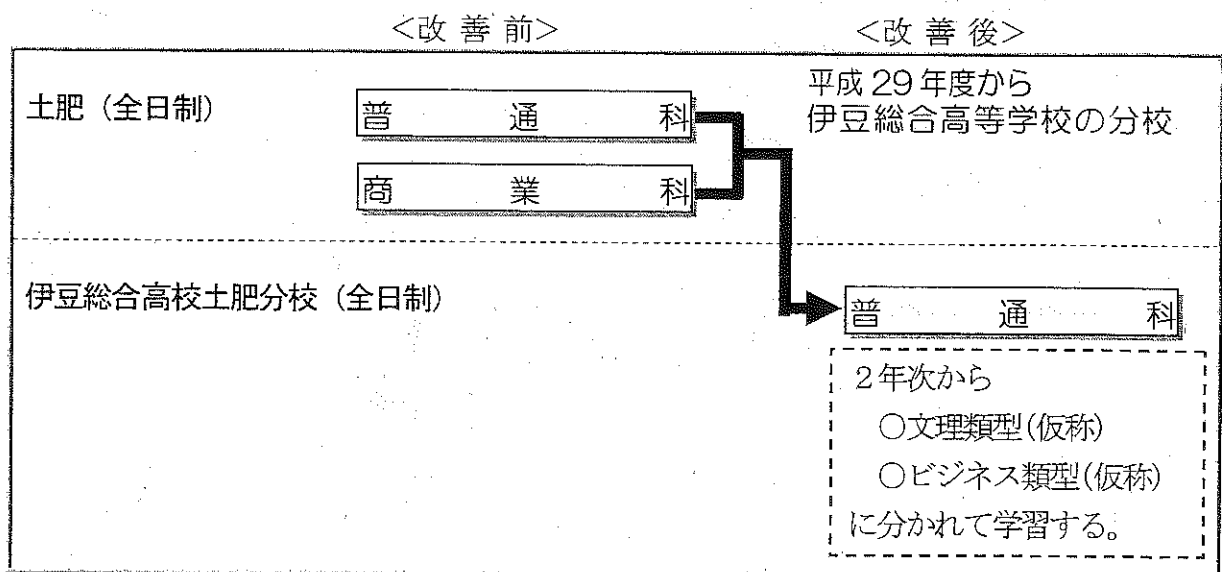
## 土肥高校の分校化に伴う学科改善

### 1 経緯等

- 平成26年9月の教育委員会定例会において、平成29年度から土肥高校は伊豆総合高等学校の分校となり、同時に募集学級数を2学級（普通科1、商業科1）から1学級に減少することが決定している。
- 平成27年度に「土肥高等学校将来構想検討委員会」を設置し、分校後の教育内容等について検討を重ねるとともに、地域の学校関係者や保護者等の意見を聴取する広聴会を開催し、年度末に「基本構想計画」を策定した。

### 2 改善の方向性（「基本構想計画」より抜粋）

- (1) 地域の中学生の幅広いニーズに柔軟に対応するため、普通科を設置する。
- (2) 生徒の多様な進路希望に対応するため、2年次から2つの類型を設ける。
  - ア 文理類型(仮称)・・・主に進学希望者への対応として、人文社会又は自然科学に関する分野を学び、基礎・基本の定着を図る。
  - イ ビジネス類型(仮称)・・・主に就職希望者への対応として、商業に関する分野を学び、社会人として必要な基礎的知識・技能を習得させる。



第7回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	監査結果に関する報告	1
2	チアアップコンテンツ (教員向け)	3

## 監査結果に関する報告

---

(財務課)

### 1 監査の結果

平成 28 年 6 月 24 日に、今年度、第 1 回目の監査結果の報告があった。

今回は、平成 28 年 6 月 16 日に実施した県立学校等の監査についての報告で、教育委員会については、別紙のとおり、22 所属のうち指摘はなく、6 件の注意が付された。

### 2 指摘等事項の概要

注意の 6 件は、「生徒への体罰行為の発生」が 2 件、「支出負担行為何の遅延」が 2 件、「交通加害事故の発生」が 2 件である。

### 3 今後の対応

監査結果に対する措置状況は、平成 28 年 9 月 23 日までに監査委員へ報告する。

(別紙)

注意 6 件

監査箇所	指 摘 等 事 項	
沼津工業 高等学校	件 名	生徒への体罰行為の発生
	内 容	沼津工業高等学校教諭は、平成 25 年 10 月から平成 27 年 11 月にかけて、部活動中に生徒の指導をする際に頬を叩く等、複数の生徒に対し、体罰を行った。
清水南 高等学校	件 名	支出負担行為の遅延
	内 容	平成 27 年度に実施した生徒の尿検査と心電図検査の「役務費」の支出負担行為の遅延していた。
掛川西 高等学校	件 名	交通加害事故の発生
	内 容	平成 25 年度から 27 年度にかけて、3 年連続で通勤途上における交通加害事故が発生していた。
池新田 高等学校	件 名	生徒への体罰行為の発生
	内 容	池新田高等学校教諭は、平成 27 年 9 月、清掃時間中に生徒の指導をする際、ワイシャツの胸元付近を両手で掴み、押して、けがを負わず体罰を行った。
沼津特別 支援学校	件 名	交通加害事故の発生
	内 容	平成 25 年度から 27 年度にかけて、3 年連続で通勤途上における交通加害事故が発生していた。
清水南 高等学校 中等部	件 名	支出負担行為の遅延
	内 容	平成 27 年度に実施した生徒の尿検査と心電図検査の「役務費」の支出負担行為の遅延していた。



## チア・アップコンテンツ (教員向け)

(義務教育課)

### 1 目的

チア・アップコンテンツ (教員向け) は、各校教員が校内研修等において全国学力・学習状況調査の問題や本県の現状と課題について情報を共有し、早期に学校改善、授業改善に生かすための校内研修支援資料である。

本県が行っている早期対応の一環として、8月末の文部科学省からの調査結果を待たずに、県総合教育センターWeb ページに掲載する。

動画コンテンツは、本県が掲げる ICT 教育の充実に資するものであり、紙媒体以上に発信可能な情報量があり、視覚的なインパクトにより短時間で効果的な情報共有、情報活用が期待できる。

### 2 内容

#### (1) チア・アップコンテンツ (音声付プレゼンテーション資料)

○総合分析 (学校質問紙・児童生徒質問紙)

- ・本県における経年的な課題
- ・質問紙調査の分析と学校改善に向けてのメッセージ

○教科分析 (国語、算数・数学)

- ・本県の児童生徒の経年的な課題
- ・調査問題の分析と授業改善に向けてのメッセージ

※総合、各教科それぞれ6分程度、全体で20分程度の音声付プレゼンテーション資料 (パスワード無し、ダウンロード可能) とする。

#### (2) 標準通過率 Spec シート

- ・各設問に対して標準通過率を設定
- ・自校の設問別正答率を入力することで、グラフによる Spec との比較ができる  
それにより、自校の課題を分析できる。

### 3 広報

県総合教育センターWeb ページにチア・アップコンテンツの内容、活用方法等を記した仕様書を掲載し、各校での活用を促す。各種研修会、地域支援課の学校訪問等において、チア・アップコンテンツを今後も継続して広報していく。

### 4 その他

昨年度、家庭・地域の方向けリーフレットに代えて、文部科学省からの調査結果発表後にチア・アップコンテンツ (家庭・地域の方向け) の作成・配信を行った。本年度も分析部会における分析内容を参考に義務教育課が外部機関に委託をし、作成・配信を行う計画である。